

高校生との意見交換会



【三井高校：8月3日】



【小郡高校：8月21日】

今年も市内にある三井高校（26名）・小郡高校（18名）の生徒の皆さんと意見交換会を開催しました。今回設定したテーマは次の2点です。

「もっと良いまちにしていくなめにはどうすればよいか」
「将来について、今あなたが不安に思っていること」

自然災害に対する防災対策は

今年には西日本豪雨により、小郡市内でも水害が起きました。昨年引き続き道路や街灯整備についても意見が出ましたが、水害を受け、今年も、両校の生徒の皆さんも災害対応への関心が高く、さまざまな意見が出され小郡市の災害対応や近隣市町村の状況を話し合うことができました。

将来の就職について不安に思う

近年、IT化やAIの進歩によりオートメーション化が進んできています。グローバル化も重なって、生徒の皆さんからは将来の就職先などへの不安が多く出され、職業の選択においても悩んでいる状況が見えまされた。議員からも地元雇用拡大のため地域活性化や企業誘致推進などの説明があり、和やかに意見交換会が行われました。

参加した生徒の政治意識の変化

今回、生徒の中には過去2回、3回と連続して参加した生徒もいて、当初、慣れない雰囲気戸惑いながらも日頃感じている時事問題や自分の将来への不安を一生懸命語っていました。アンケートでも、多くの生徒に、政治に対する意識変化がみられ、今後の投票行動などへ結びつく、積極的な発言があったことを非常にうれしく感じました。

高校生からの意見や提案

もっと良いまちにするには…災害時協力しあえる関係を

- ・小郡は自然災害は少ないが、いざという時の対応をしっかりとしないといけない
- ・小郡に住んでいるが道路が冠水するところがある
- ・市民の皆さんの防災意識を高めることが大事ではないか
- ・安心して暮らせる街にするため、防犯や災害情報などがすぐわかるといい
- ・大きな災害が起きたときお互いに協力しあえる顔見知りをつくるのが大事
- ・若い人が集まれる商業施設を駅に作ってはどうか
- ・スポーツジムやプールなど、汗を流せる施設がない

今不安に思うこと…将来、仕事に就けるか心配

- ・将来、仕事に就けるかどうか、どんな仕事をしたいのかすごく考えている
- ・少子高齢化が進み、将来納める税金が増えて、生活していけるのか不安
- ・進学後、司書になりたいが、紙を扱う仕事がなくなるのでは？と不安である
- ・世界規模で異常気象が続いて、10年後・20年後の地球が心配
- ・若い人と高齢者が交流する機会がなく、近所の人でも顔も名前もわからない、もっと交流の場を作ってはどうか

参加後のアンケートから抜粋…政治の見方が変わった

- ・2回目の参加で、また政治に関する見方が変わった。これから社会に出て世の中の事などもっと勉強して社会人として責任と自覚を持って生活していきたいと思った。
- ・色々な意見が言えてよかった。全体会の時に急に当てられた時は少し戸惑ったが何とか自分が思っていたことを言えたのでよかった。選挙権はまだ持っていないが選挙の期間が近づいたら新聞やニュースをしっかりと見てよく考えてから投票しようと思った。

【議員研修会】(年3回)

8月20日に総務文教常任委員会の企画により、市役所にて研修会を行いました。

(研修テーマ)

REASASの操作方法、見方及び活用事例について

(講師)九州経済産業局地域経済部地域経済課

島田 啓子 氏

内村 剛士 氏

九州経済産業局地域経済部地域経済課からお二人の講師にお越しいただき、講演をいただきました。REASASとは、地方創成のデータ利用の「入口」として、地域経済に関する官民の様々なデータ(例えば、総務省統計局や厚生労働省のデータ、NTTドコモやナビタイムが保有しているデータなど)を、地図やグラフ等で分かりやすく「見える化」しているシステムのことです。特徴として、「だれもが直感的に使える、分かりやすい画面操作」「国が一括して官民のデータを調達・加工した上で、インターネットで無料で提供されている」等があげられます。小郡市内における観光客の動きや、日中と夜間での人口比率、他市と比較しての産業構造の違い等、これからのまちづくりに有用なデータをすぐに選択し抽出できるシステムに驚きを隠せませんでした。勘・経験・思い込みではなく、データに基づく政策立案を行うためにも、大変参考になりました。